

1. 居住環境の調整にかかわる研究

研究の方法

- 居住環境の _____ ・ _____ ・ _____
 - 道具や実験装置が必要
 - ある程度は経験の世界
 - 何事も実態把握から、困った時には、 _____ に戻る
 - 現状把握をして、 _____ を見いだす
 - (→辻原の研究方法は、基本的にはこれ)

 - _____ の構築
 - 頭と鉛筆と紙があればできる（極端に言ってしまうと）
 - _____ 学と _____ 学を用いる
 - 理学的な _____ 性と工学的な _____ 性の兼ね合いが問題

 - _____ による検討
 - 主として、コンピューターを用いる
 - コンピューターの発達に伴い、シミュレーションの分野が急激に発達
 - CFD (Computational Fluid Dynamics, 数値流体力学)
 - 特に _____ 手段を提案するとき有効
- ◇ それぞれの方法は独立して存在しているわけではなく、相互に影響を及ぼしあって、研究が進んでいく
- ◇ ◇ 研究する対象、使用する機器、関連する理論、もしくは、用いるモデルやプログラムに違いはあるだろうが、居住環境の調整に関する研究だけではなく、居住環境全体に関する研究、さらには環境資源学に関する研究でも、食健康科学に関する研究でも同じことではなかろうか？
- ◇ 主に研究対象とする領域が時と共に変化することもある
- ◇ ◇ 長年同じ研究テーマを追い続ける方が良いという考え方もあれば、その時の様々な状況に応じて柔軟に変更した方が良いという考え方もある
- ◇ ◇ ある一つの研究テーマや研究領域に集中する方が良いという考え方もあれば、複数の研究テーマや研究領域を同時進行させる方が良いという考え方もある

2. これまでの研究テーマ

→詳細は、辻原の担当する地域環境調整工学研究室のホームページや辻原研究室のブログを参照。

<http://www.pu-kumamoto.ac.jp/~m-tsuji/>

<http://ameblo.jp/m-tsuji/>

▽2000年度以前の主な研究テーマ

- 1) 都市のアーケードデザインの歴史の変遷に関する研究【歴史】
- 2) 温暖多照地域における全蓋式アーケード内部の気温分布性状と温熱環境の評価【環境調整】
- 3) 東南アジアを中心に分布する連続覆付歩廊内部の温熱環境に関する研究【環境調整】
- 4) 都市の半戸外空間内部の温熱環境に関する地域の差異を考慮した評価方法の提案【環境調整】

▽2000年度の地域環境調整工学研究室の主な研究テーマ（助手・平川さん）

- 1) 新設された片側式アーケード内部の温熱環境に関する調査研究【環境調整】
- 2) 大学研究室の一時移転に伴う照明環境の変化に関する調査研究（鬼木さん卒業研究）【環境調整】
- 3) 熊本地域の風環境マップの作成- 20箇所のデータを用いて-（町田さん卒業研究）【環境調整】
- 4) 南洋群島の建築組織について（矢野さん卒業研究）【歴史】
- 5) 戦前期の「南方建築」に用いられた室内環境調整手法に関する文献調査（八幡さん卒業研究）【環境調整】【歴史】

▽2001年度の地域環境調整工学研究室の主な研究テーマ（助手・平川さん）

- 1) 遮光網が全蓋式アーケード内部の温熱環境に与える影響に関する研究【環境調整】
- 2) 棚田を持つ農山村における夏季の自然エネルギーの実態に関する研究（右近さん卒業研究）【環境調整】
- 3) 熊本市内の茶室における照度分布と推移に関する調査研究（牛島さん卒業研究）【環境調整】
- 4) 南洋群島における建築物の床下の構造について（香山さん卒業研究）【歴史】
- 5) 乳幼児の生活環境における冷暖房機器についての意識に関する研究- 熊本市を対象として-（中村さん卒業研究）【環境調整】
- 6) 吹抜け空間をもつ環境共生型オフィス内部の温熱環境（増成さん卒業研究）【環境調整】
- 7) 戦前期中南洋群島への建築技術の伝播【歴史】
- 8) 地域コミュニティの核としての商店街における公共性- 商店街組織と施設に着目して-【その他】

▽2002年度の地域環境調整工学研究室の主な研究テーマ（助手・香川さん）

- 1) 戦前期の南洋群島における建築物にみられる室内環境調整手法と気候風土に関する研究【環境調整】【歴史】
- 2) 環境に配慮したアーケードの総合的な評価と改善策の提案に関する調査研究（熊本大学工学部矢野・川井研究室との共同研究）【環境調整】
- 3) 棚田を持つ農山村における生活環境に関する研究（環境共生学部中島研究室との共同研究）【環境調整】
- 4) 阿蘇におけるサイン（屋外広告物）のあり方（総合管理学部立山先生との共同研究）【その他】

▽2003年度の地域環境調整工学研究室の主な研究テーマ（助手・岡本さん）

- 1) 旧南洋群島における日本委任統治時代の建築活動に関する研究【歴史】
- 2) 環境に配慮したアーケードの総合的な評価と改善策の提案に関する調査研究（熊本大学工学部矢野・川井研究室との共同研究）【環境調整】
- 3) 「島」の地域特性：資源と産業振興について【その他】
- 4) 阿蘇におけるサイン（屋外広告物）のあり方（総合管理学部立山先生との共同研究）【その他】

▽2004年度の地域環境調整工学研究室の主な研究テーマ（助手・岡本さん）

- 1) 熊本県立大学のキャンパス内外における夜間街路照明環境に関する研究（大倉さん卒業研究）【環境調整】
- 2) 密集した漁村集落における夏季の微気象- 熊本県牛深市真浦・加世浦地区での観測-（黒木君卒業研究，有明高専建築学科加藤先生との共同研究）【環境調整】
- 3) 熊本県内の地方自治体庁舎内における分煙状況に関する研究（田上君卒業研究）【環境調整】
- 4) 熊本県の主要観光地における案内標識のあり方に関する調査研究（宮里さん卒業研究）【その他】
- 5) 旧南洋群島に残る日本委任統治時代の建築物に関する研究【歴史】

▽2005年度の地域環境調整工学研究室の主な研究テーマ（助手・岡本さん）

- 1) パラオ共和国ベラウ国立博物館創立50周年記念特別展示「パラオの日本建築文化」（調査・製作・展示）【歴史】
- 2) アーケードを持つ商店街の人工光環境に関する評価（下瀬さん卒業研究）【環境調整】
- 3) 地域資源としての農業用水路の活用- 熊本県白川中流域を対象として-（古内さん卒業研究）【環境調整】【その他】

- 4) 全国の都市計画駐車場における景観対策の調査研究（丸山さん卒業研究）【その他】
- 5) 「せどわ」に関する研究- 密集した漁村集落の構成と微気象-（山本さん卒業研究，有明高専建築学科加藤先生との共同研究）【環境調整】
- 6) CONFLICT and FUSION～歴史的文化遺産との共存～（岩田君卒業設計，第47回日本建築学会全国大学・高専卒業設計展示会に出品）【卒業設計】
- 7) こども×みる×学校＝あかるい未来！（柏木君卒業設計，近代建築別冊卒業制作 2006 に出品）【卒業設計】

▽2006年度の地域環境調整工学研究室の主な研究テーマ（助手・安浪さん）

- 1) 漁村集落の「せどわ」と空き地における気流性状に関する研究（高橋さん卒業研究，環境共生学部細井研究室との共同研究）【環境調整】
- 2) 北マリアナ諸島における日本時代の建築物の3次元CGを用いた復原（田中君卒業研究（卒業制作））【歴史】
- 3) マレーシア・ジョホールバルにおけるテラスハウスの温熱環境に関する研究（中島さん卒業研究）【環境調整】
- 4) 熊本市における一般公衆浴場の変容に関する研究（中山さん卒業研究）【歴史】
- 5) 熊本における公共図書館の照明方式とその印象に関する研究（宮崎さん卒業研究）【環境調整】
- 6) 旧南洋群島に残る日本委任統治時代の建築物に関する研究【歴史】

▽2007年度の地域環境調整工学研究室の主な研究テーマ（助手・安浪さん）

- 1) 亜熱帯気候下における環境共生型施設の温熱環境に関する研究（黒木さん卒業研究，河井事務所との共同研究）【環境調整】
- 2) 「せどわ」の微気象と集落内建物の通風・温熱環境（坂田さん卒業研究，環境共生学部細井研究室との共同研究）【環境調整】
- 3) 熊本市東部における住宅地の形成過程（高濱君卒業研究）【歴史】

▽2008年度の地域環境調整工学研究室の主な研究テーマ（助手・安浪さん）

- 1) おしゃれしてでかけよう（岩井さん卒業設計，近代建築別冊卒業制作 2009 に出品）【卒業設計】
- 2) Hide and seek（後藤君卒業設計，第50回日本建築学会全国大学・高専卒業設計展示会に出品）【卒業設計】
- 3) 風景を成す（鶴崎君卒業設計）【卒業設計】
- 4) uekibachi（野田君卒業設計）【卒業設計】

- 5) mellow garden（平山さん卒業設計）【卒業設計】
- 6) 路地形態の違いによる漁村集落の風環境に関する研究（八木さん卒業研究，環境共生学部細井研究室との共同研究）【環境調整】
- 7) 製糖業に関わる建築活動からみた戦前期日本の影響下にあった地域の相互比較【歴史】

▽2009年度の地域環境調整工学研究室の主な研究テーマ（助手・安浪さん）

- 1) KING OF KNOTS（末廣君卒業設計）【卒業設計】
- 2) 御所浦嵐口地区における温熱環境の調査と自然エネルギーを利用した居住空間の提案（森川さん・吉見さん卒業研究）【環境調整】
- 3) 製糖業に関わる建築活動からみた戦前期日本の影響下にあった地域の相互比較【歴史】
- 4) 近代日本における化学工業系企業社宅街の成立と変遷に関する研究【歴史】
- 5) 札幌と熊本の小学児童を対象にした温熱的快・不快（札幌市立大学デザイン学部斉藤研究室との共同研究）【環境調整】

▽2010年度の地域環境調整工学研究室の主な研究テーマ（事務補佐員・栗崎さん）

- 1) 旧三菱重工業熊本航空機製作所が熊本市東部の発展に与えた影響（麻田さん卒業研究）【歴史】
- 2) 熊本市河原町旧繊維問屋街における人々のオーラルヒストリー（浦口さん卒業研究）【その他】
- 3) 小国町における地熱を利用した共同施設と住宅設備に関する研究（高野さん卒業研究）【環境調整】
- 4) 局地風が集落に及ぼす影響と集落に住む人々の防風の工夫に関する研究（仲さん卒業研究）【環境調整】
- 5) 美術館の運営と利用実態の関係-熊本県内の美術館を対象として-（花園さん卒業研究）【その他】
- 6) 楽しさが廃墟を呑み込む（井海君卒業設計，近代建築別冊卒業制作 2011 に出品）【卒業設計】
- 7) 寄り添う都市（陳内さん卒業設計）【卒業設計】
- 8) 育つ小学校（宮嶋さん卒業設計）【卒業設計】
- 9) 製糖業に関わる建築活動からみた戦前期日本の影響下にあった地域の相互比較【歴史】
- 10) 札幌と熊本の小学児童を対象にした温熱的快・不快（札幌市立大学デザイン学部斉藤研究室との共同研究）【環境調整】

▽2011年度の地域環境調整工学研究室の主な研究テーマ（助手・橋内さん）

- 1) 異なる交通機関への乗り換えが生じる駅前空間における人の行動に関する研究（明石さん卒

業研究)【その他】

- 2) 熊本と札幌における小学児童の温熱的不快・想像温度・授業への集中度合い（秋成さん卒業研究，札幌市立大学デザイン学部齊藤先生との共同研究）【環境調整】
- 3) 旧本町中学校を対象としたワークショップの開催と記録の作成-廃校になる学校をどう終わらせるか-（田山地さん卒業研究）【歴史】
- 4) 阿蘇外輪山の内側に位置する神社の配置と人々の暮らしの関係（原田さん卒業研究）【その他】
- 5) 集合住宅のこれから（尾崎さん卒業設計）【卒業設計】
- 6) 川と人とまち（横田さん卒業設計，DA5展 2012 田中賞受賞）【卒業設計】
- 7) 水環境からみた熊本地域の空間形成に関する研究（本田さん研究テーマ）
- 8) 戦前期日本における製糖業を支えるネットワークの形成過程と特質に関する研究【歴史】
- 9) 韓国忠州市で開催された国際ワークショップでの差異の受容過程と成果の検証【その他】

▽2012年度の地域環境調整工学研究室の主な研究テーマ（助手・橋内さん/事務補佐員・鬼塚さん）

- 1) 水環境の変容からみた熊本市の都市形成に関する研究（本田さん特別研究（修士論文））【その他】
- 2) 熊本市内に位置する旧社格のある神社における石燈籠配置と特徴（飯島君卒業研究）【歴史】
- 3) 天草の偉人赤崎伝三郎が建てた和洋折衷の自邸と関連する建物（岩元さん卒業研究）【歴史】
- 4) 熊本県における製氷技術と設備の変遷（上田君卒業研究）【歴史】
- 5) 小学児童と教員の温熱的不快と想像温度-熊本，東京ならびに札幌-（緒方さん卒業研究，札幌市立大学デザイン学部齊藤先生との共同研究）【環境調整】
- 6) 九州日日新聞にみる JR 肥薩線の建設の様子（西村さん卒業研究）【歴史】
- 7) 戦前期日本における製糖業を支えるネットワークの形成過程と特質に関する研究【歴史】
- 8) 学部生が参加者の大半を占める国際ワークショップの準備と実施【その他】

→実は，これまで皆さんに話してきた「居住環境の調整に係わる研究」（上記のテーマの後ろに【環境調整】と書かれた研究）以外に，「居住環境の歴史に関する研究」（上記のテーマの後ろに【歴史】と書かれた研究）も行っている（こちらの比重もかなり高い）。また，それ以外のものもある（上記のテーマの後ろに【その他】と書かれた研究）。

→→幾つかの専門を持つ強みもあるのでは？もちろん，難点もあるが。

⇒⇒スライド

- 1) 熊本県天草市牛深町の漁村での微気象に関する実測調査と生活環境に関する聞き取り調査の様子と研究成果の一部
- 2) 研究室の学生達と参加した『日韓国際都市・建築デザインワークショップ 2012』の様子
- 3) 2011年度卒業生の卒業設計作品とこれまでの熊本合同卒業設計展の様子

3. レポート課題

以下の課題についてのレポートを、**A4判の大きさ**で作成して下さい。

書式は自由です。ただし、学部名、学科名、学籍番号、名前などは明記して下さい。

また、2枚以上になる場合には、ステープラーなどで止めて下さい（横書きの場合は、左上を止める。この配付資料を参照。）。バラバラのまま提出した場合は、本人のものと判明するものだけで採点するので注意しましょう。

例年、課題に答えていないレポート、もしくは課題の一部に対してしか答えていないレポートが見受けられます。課題文を良く読んで、**読み手にわかりやすいレポート**、**読み手を納得させることができるようなレポート**の作成を心がけて下さい。

なお、レポートを書く際に何かを参考にした場合は、出典を必ず明記して下さい。出典を明記せずに引用などをした場合は、例えインターネット上のホームページからの引用であっても、大幅に減点するので注意しましょう。

- 1) あなたが日常生活の中で滞在もしくは通過するところ、またはこれまでに滞在もしくは通過したことがあるところのうち、最も良い環境だと思われるところと最も悪い環境だと思われるところを挙げてください。その際、自分で写真を撮るか、絵を描くか、スケッチを描くかなどして、目で見てわかりやすいようにして下さい（インターネット上の画像を貼り付けることは認めません）。

次に、どうしてそのように思うのか、講義の内容と関連づけて、理由を示しながら自分の考えを述べてください。最後に、悪い環境だと考えたところを良い環境にするにはどうすれば良いと思うか、理由を示しながら自分の考えを述べてください。

- 2) あなたの周りで見つけることができるような、居住環境を上手に調整するためになされている工夫を2つ挙げてください。その際、自分で写真を撮るか、絵を描くか、スケッチを描くかなどして、目で見てわかりやすいようにして下さい（インターネット上の画像を貼り付けることは認めません）。

次に、講義の内容と関連づけて、それがどのような工夫で、どのような効果を挙げているのか、をわかりやすく説明してください。最後に、それらの工夫に対してどのように評価すればよいのか（「評価はどうか」と言う観点からでも、「評価の方法はどうか」と言う観点からでも良い。）、理由を示しながら自分の考えを述べてください。

- 3) 授業の感想、意見などを自由に書いてください。

▽▽締め切り

05月31日（金）

▽▽レポートの提出先・講義を通しての質問

レポートの提出は、下記の担当者の所まで。その他質問なども、以下の担当者まで。

担当者にレポートを直接手渡さないで扉にはるなどした場合は、紛失しても責任はもてません。また、やむを得ない事情によりレポートの提出が遅れる場合は、できるかぎり事前に（事前に連絡できなかつた場合も、できる限り早めに）連絡して下さい。事情によっては、考慮します。

・准教授・辻原 万規彦

部屋：環境共生学部西棟（旧棟）旧棟4階南西角（407）

電話：096-321-6706（直通）、もしくは383-2929（内線492）

e-mail：m-tsuji@pu-kumamoto.ac.jp

・研究室助手・本田 有紀子

部屋：環境共生学部西棟（旧棟）3階南西角・細井研究室／4階中央・本田助手室

電話：096-383-2929（内線482（助手室）／内線475（細井研））

e-mail：honda-y@pu-kumamoto.ac.jp

※参考 URL

講義で配付した資料は、下記のホームページからダウンロード可。

<http://www.pu-kumamoto.ac.jp/~m-tsuji/kougi.html/tsukuru.html/kyojyutsukuru.html>